卒業論文

一人暮らし高齢者に求められる「買い物支援」の検討

2010 年度入学

九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

2014 年 1 月　提出

要旨

この論文では、祖父母やF市社会福祉協議会、F市S校区、C、壱岐校区の高齢者への聞き取り、また演習の一環としてY県M市で行われたフィールドワークをもとに、一人暮らし高齢者の買物行動の現状を述べると共に、買物行動の果す役割を「共同体」の構築といった「モノを購入する」という目的以外の面からも分析し、今求められる買物支援とはどのようなものであるか検討した。

第 1 章では、「時代に翻弄される高齢者」と表し、高齢者の単独世帯数をデータで示すと共に、上野(2008)の論を紹介し、今、様々な要因がからみあって一人暮らしの高齢者が年々増えていること、またその流れに反しているように行政の制度は作られており、高齢者がその渦中にいることを明らかにした。

第 2 章では、「買物難民」をテーマに論を展開している。まず、軽視されがちである「買物行動」が一人暮らし高齢者にとっていかに重要であるかを述べた上で、高齢者の買物難民が増加していることに着目し、その増加の要因として、杉田聡(2008)が述べていた「巨大店舗(群)の出現による地元商店の衰退」を取り上げて論を展開している。また、日本社会において、「都市的」な社会関係が浸透していることが買物難民をより深刻な買物難民へと陥らせてしまうと仮定し、昔と今の近所づきあいの違い等をデータを基に述べている。さらにそのような状況にある買物難民が無視されがちであることに対して、「高齢者を周辺的な存在とみなすバイアス」を要因として問題視している。

第 3 章では、F市社会福祉協議会やF市の一人暮らしの高齢者、N市G地区の祖父母への聞き取り、また演習の一環としてY県M市で行われたフィールドワークから出てきた現状を書きあげた。

第 4 章では、第 3 章をもとに、買物行動の共同体構築の場としての機能や、地域別に見た問題点をあげた。F市とM市の聞き取りからは、それぞれの地域特性が異なった問題点を発生させていること、また、コンビニが見守りとしての機能を持っていることを明らかにした。また、祖父母への聞き取りから、買物行動が、「モノを買う」という側面とは別に、「共同体」構築としての役割を果たしていることを明らかにした。加えて、高齢者に共通して見られた「気兼ね」意識が、高齢者とそれをサポートする団体にニーズ把握のずれを生じさせる可能性があることを問題点としてあげた。

第 5 章では、これまで述べてきたことを踏まえて、今求められる買物支援とは何か条件付けしながら述べている。

目次

はじめに 1
1　時代に翻弄される一人暮らしの高齢者 3
1.1　変容する「おひとりさま」の現状 3
2　買物難民の出現と変遷 6
2.1　一人暮らし継続における買物行動の重要性 6
2.2　買物難民とは 7
2.3　買物難民はなぜ生まれたのか 9
2.3.1　巨大店舗出現による小規模商店の消滅 9
2.3.2　都市的社会関係の浸透 11
2.4　無視される買物難民 18
3　フィールドワーク 19
3.1　フィールドワーク概要 19
3.1.1　調査の目的 19
3.1.2　調査対象 19
3.1.3　調査手法 19
3.2　F 市の一人暮らし高齢者をとりまく環境とそれを支える社会福祉協議会の取り組み 20
3.2.1　F 市概要 20
3.2.2　F 市の高齢者を支えるネットワーク 21
3.3　F 市に暮らす高齢者の買物行動 22
3.3.1　聞き取り調査対象者概要 22
3.3.2　F 市 C 区 S 校区校区概要 23
3.3.3　F 市 H 区 C 校区概要 25
3.3.4　F 市 N 区 I 校区概要 25
3.3.5　F 市に暮らす高齢者への聞き取り 26
3.3.6　コンビニの機能 29
3.3.7　団地の階段 31
3.4　Y 県 M 市の一人暮らし高齢者をとりまく環境とそれを支える社会福祉協議会の取り組み 31

3.4.1　Y 県 M 市概要 32
3.4.2　M 市 S 町の高齢者を支えるネットワーク 32
3.4.3　調査対象者概要 33
3.4.4　M 市 A 地区の一人暮らし高齢者の買物行動 33
3.5　N 市 G 地区の祖父母への聞き取り 36
3.5.1 調査対象地概要 37
3.5.2　居住形態 37
3.5.3　買い物行動 38
3.5.4　大型商業施設開店が及ぼした周辺商店への影響 40
4　分析 44
4.1　「共同体」構築のための買物行動 44
4.2　「必要」と「需要」 46
4.3　F 市の事例から 48
4.4　M 市 S 町の事例から 49
4.5　他人に頼ることへの「気兼ね」意識 51
5　考察 53
おわりに 57
参考文献・参考ＵＲＬ一覧 59